

編集後記

●特集1を読み、思い出した同級生がいます。こだわりが強く、少々「変わった子」の彼女。しかし、周囲はそれを理解し受け入れており、彼女はまさに「学級に溶け込んで」いました。石川啄木の大ファンで、休み時間は常に歌集を読んでいた彼女の持つ世界に私は憧れていたのですが、話す機会もなく卒業してしまいました。「今なら、何と話しかけるだろう」と考えます。(た)

●子どもの自殺は9月1日に多いと指摘されています(自殺対策白書)。今年も8月31日には、メディアやSNSで「つらければ学校に行く必要はない。命のほうが大切」というメッセージが流れることと思います。命が大切なことに異存ありませんし、そのようなメッセージで救われる子もいるでしょう。しかし、最初から学校を悪者にするような言い方に違和感があります。特集2はそのような思いを込めた特集です。(こ)

次号のお知らせ

特集1 「敏感で傷つきやすい子 (HSC)」について知ろう

クラスの子が叱られていると、叱られている子以上につらそうだったり、大きな音がしたときに過剰に驚いたりする子がいます。「敏感すぎる子 (HSC)」は15~20%程度いるとも言われています。

特集2 校内連携のすき間に落ちてしまう子

チームでの支援はメリットがある反面、責任の所在が曖昧になる、情報共有が滞るなど、支援に空白が生じてしまうこともあります。こうした「すき間」をどう防いでいくのかについてご紹介します。



学校教育相談

2019年 令和1年 8月号

定価 800円 (本体 741円)

2019年8月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所


●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板

・このたび『学校で使える5つのリラクゼーション技法』(藤原忠雄/著)、『キレイやすい子へのソーシャルスキル教育 教室でできるワーク集と実践例』(本田恵子/著)、『CD-ROM付き! ワークシートでブリーフセラピー 学校ですぐ使える解決志向&外在化の発想と技法』(黒沢幸子/編著)が重版となりました。初版が一番古い『学校で使える5つのリラクゼーション技法』は、13年前の発行でした。長くご愛読いただいていることに、感謝しております。

●本誌の2019年4月号からの1年間の誌代は12,080円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ※詳しくは奥付を! 資料のファイル(一太郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索